



ひがしかぐら

こんにちは

議会だより です

NO. 103

ひがしかぐら



主な内容

第3回定例会 ● 令和元年9月11日～12日

- ・決算審査特別委員会
- ・主な議案、臨時会
- ・一般質問 5名

確保を

63億6,866万円
億3,600万円)



生出 栄 委員長

決算審査特別委員会

質疑応答

融雪施設事業は

当初の予定通りなのか

A 一基20万円の助成で6基予定し総額120万円で組んでいます。

北2線整備事業の土地代が640万円と少ないがどうしてか

A 実施設計をした結果、正確な面積が確定し、面積が少なくなりました。



北2線道路予定地

有害鳥獣駆除対策事業の

現状は

A 鳥獣対策実施協議会と連携し、銃での捕獲、アライグマ、クマ、シカ等の対応は速やかに行っています。

無洗米と従来の精米の割合は

A 従来の精米の一割程度を無洗米として加工します



無洗米工場

高齢者運転免許自主返納の

助成は

A 70才以上で保有する全ての運転免許を返納し、免許センターで運転経歴証明書の交付を受けた方に対して、1万円のハイヤー又はバスカードをお渡ししています。

ふるさと納税の

返礼品のランクは

A 昨年度の額は1億4011万9千円です。返礼品で2万円未満は、お米、家具は4万円から5万円、最高額は250万円です。



ふるさと納税返礼品カタログ

無駄を省き財源

歳入決算額 66億46万円、歳出決算額
(30年度予算・歳入・歳出いずれも59

防災無線の設置件数と率は

A 防災無線の設置すべき場所は422箇所、設置率70%となっています。

高校通学費の内訳は

A 対象者は40名で支給実績は34名となっています。公立、私立も対象としています。

国際交流の取り組み現状は

A 外国人の方を講師に招いて講座を開く事業で、ラトビア、イタリヤ、インドネシア、ロシア等です。

幼保一元化の具体的な取り組みは

A 施設の規模、内容を検討するプロジェクトチームを立ち上げたい。



東神楽幼稚園

町長専用車を 入れ替えたかどうか

A トヨタのワゴン車を購入し、災害の際に電気供給に使う事で12月末に納車の予定となっています。



現在使用している町長車

花の駅の実績は、 予算は足りているのか

A 2千名の方にレジ販売実績となっています。種子や土を購入し、ピニール類は産廃として処分しています。廃棄する苗は堆肥化しています。



花の駅

税金をクレジットで支払いは

A 来年度、コンビニ収納を検討していますので、クレジットカードでの支払いも検討して参ります。

意見書総括

当年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は、前年度からみて数値的には上向き傾向にあり、総じて健全化に向けた改善の姿勢が認められます。

今後も、引き続き財政健全化に向けた努力を求めます。

なお、財政の弾力性を示す経営収支比率は87%で、依然として町村において妥当とされる70%を大幅に超えております。

人口1万人の町となった当町においても、将来的な人口減少や少子高齢化の問題は避けて通ることはできません。また町内公共施設の老朽化に対応するため、複合施設の整備が計画されております。

今後も引き続き、費用対効果、緊急性、不可避性等の観点から、可能な限り無駄を省きより一層の財源確保に努め、活力ある町づくりに向けて更なる適切な財政運営を望みます。

以上、執行者におかれましては、本件意見が今後の行政執行、とりわけ次年度の予算編成に反映されることを期待し、審査意見と致します。

第3回定例会議案審議

主な議案

議決結果

令和元年度一般会計補正予算	提出された各補正予算とも、10月の税制改正の関連に伴うもので賛成多数で可決
同 国民健康保険特別会計補正予算	
印鑑証明の登録・特定個人情報の提供等に関する条例	提案された各条例案は、賛成多数で可決
東神楽町副町長定数条例の改正	これまで2名体制から1名に改正
保育施設、保育事業等に関する条例の改正	国の幼児教育無償化に対する改正
「ふれ交」非常用発電機設備工事締結の件（追加議案）	原案通り可決
公住新町団地19-1年及び19-2年棟新築主体工事	新町団地新築主体工事は、団地の方角、日当たり、居住性を巡って紛糾したことから行政側で議案を一端取下げ、再度、臨時議会に提案することとした
東神楽町教育委員会委員の任命についての同意案件	教育委員の任期満了による選任同意
同 固定資産評価委員の選任同意案件	固定資産評価委員の選任同意
同 選管管理委員及び補充員の選挙案件	選管管理委員及び補充員への承認

意見書の提出

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を採択する。

第3回定例会

令和元年9月11日～12日

第5回臨時会

日時 令和元年8月9日

議案

令和元年度一般会計補正予算
・学校給食・食品ロス調査研究

・全道大会補助金増額 176万円

・専決処分 190万円

・公用車・除雪車の事故和解損害賠償
提出議案はすべて可決する

第6回臨時会

日時 令和元年9月20日

議案

令和元年度一般会計補正予算

・全道・全国大会出場報償増額 40万円

・給食費減免、助成金追加 164万円

議会の動き

・公営住宅新町団地新築工事請負契約の締結

19-1棟（4戸）

5256万9千円

19-2棟（4戸）

5459万3千円

提出議案すべて可決する

9月20日	議員協議会（第17回） 公営住宅新町団地新築建築主体工事について し尿及び浄化槽汚泥処理手数料の改定について
9月12日	議員協議会（第16回） 決算審議
9月12日	決算特別委員会 決算審議
9月11日	文教産業常任委員会（第6回） 請願・陳情等の検討
9月11日	総務常任委員会（第4回） 行政視察の協議
9月11日	議員協議会（第15回） 定例会の運営方針の検討
8月9日	議員協議会（第14回） 複合施設整備事業について



渡辺 一志 議員

- 1 産業振興を積極的に

横溝 政行 議員

- 1 高齢者福祉対策について
- 2 志比内小学校校舎・体育館の屋根の塗り替えを



大門 登 議員



- 1 次期町長選への決意のほどは
- 2 認知症高齢者の失踪対策について
- 3 平成30年第3回定例議会にて、お伺いした点は

清野 修一 議員

- 1 東神楽町の安全で安心なまちづくりについて



生出 栄 議員



- 1 あったか町政の為に
- 2 町民の不安解消の為に



一

般

質

問

質問・答弁は要約されています。議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。質問全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しく知りたい方は、東神楽町議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますので、どうぞご利用ください。

第3回定例会では
5人が一般質問しました。

渡辺 一志 議員



問

産業振興を積極的に

答

経済の活性化や産業振興を図り将来にわたって持続可能なまちづくりを推進して参ります。

質 問 東神楽町は高齢化の進行に伴い子育て支援・高齢者対策・福祉対策に積極的に取り組んでおり、重要な政策であります。

合せて産業の振興にも積極的に取り組む事が重要であり、産業の発展は町を活性化させると考えますが町長の考えは。

町長答弁 本町の産業は、農業、商工業、観光であります。消費者ニーズに対応し、安定した雇用の創出と人材育成・確保にむけて取り組んでおりその活力が町の活性化となり、大変重要なものと考えています。

農業においては農業振興推進会議を中心に課題解決や生産拡大に向けた対策を検討・実施しており、国営緊急農地再編整備事業も進行しています。

商工業においては、中小企業特別融資事業や東神楽ブランド「種と実セレクト」の推進、起業支援として「3本の矢事業」を継続し、本年度は移住に向けた助成をしています。

観光においては「森林公園リニ



国営緊急農地再編整備事業工事状況

ユール計画」や冬の森林公園活用に向けた「第3の冬のアクティビティ実施事業」など拠点強化に取り組んでいきます。

「東神楽 地方版総合戦略」の最終年であり効果検証委員会を設置し進捗と効果、課題を整理し次期総合戦略を改定して参ります。



森林公園

これらの施策により経済の活性化や産業振興を図り将来にわたって持続可能なまちづくりを推進して参ります。

再質問 農業関係で機械や施設の大規模にどう対応していくのか。又後継者や労働力確保をどう考えているのか。商工業部門で創業支援事業の進捗と効果はどのようになっているのか。

企業誘致や個人事業主の誘致状況は観光関係で森林公園のリニューアル計画が当初の目的とする顧客の確保が可能なのかという点と森林公園を中心に観光拠点を集約し「花のまち東神楽」として進める事はどうか。

町長再答弁 機械の大型化が必要となってくる中でICT技術を活用したAIのスマート農業等、技術の進歩にしっかりと注視研究をし、有利な補助事業等の情報を得ながら取り組んで参ります。

後継者が戻ってこれるような地域づくりを進めると共に労働力の問題は機械化や省力化等、総合的に研究をして参ります。

創業支援事業で昨年は1件飲食業で活用されています。引き続きPRして参ります。

企業誘致については近隣市町と連携し進めて参ります。

森林公園リニューアル計画が当初の見込みに対して難しいところがあるものの冬のアクティビティ事業等、新しい観光ニーズについて調査研究をして参ります。

花の関係も大きな観光資源になる要素と考えますので調査検討して参ります。

再々質問 私は産業の発展なくして町の発展はないと考えています。

町長が先頭に立って推進してください。

町長再々答弁 各産業が儲かった結果、町が活性化すると思っています。私も先頭に立って頑張ると共に職員も意識改革を含めながら進めます。

横溝政行 議員



問

高齢者福祉対策について

答

外国人介護福祉士を今の所受け入れる考えはありません

質問 近年介護業界を取り巻く環境は、介護人材が足りず慢性的な、人手不足になっております。団塊の世代が75歳を迎えるころには、介護サービスの需要が増える事が予想され我が町も高齢化が進みやがて介護人材が不足することは間違いがなく高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすためには今後外国人介護福祉士の受け入れも必要が有ると思えます。東川町においての「外国人介護福祉人材育成支援事業」の説明を聞かせて下さい。

町長答弁 介護職員の人材確保は、非常に厳しいと認識しております。又、外国人介護福祉士の受け入れも有効で有る事も理解しております。しかし財政上の理由から、現段階では、難しいと考えております。東川町の「外国人介護福祉人材育成支援事業」については、高額な費用負担から今後の対応を検討します。

再質問 介護職員の確保が厳しい事、外国人介護福祉士の受け入れに理解しているにも関わらず、財政上の理由で取り組めないと言うのであれば、他の市・町はすでに受け入れ体制を整えている所が有ります。予算執行の優先順位を変えてでも行うべきです。

今後、介護人材が我が町で不足にならないためにも、行政と民間と一

体となり、町独自の人材育成に取り組むべきです。

町長再答弁 外国人の雇用は研究しながら町としての施策を考えていきたいと思えます。介護人材の育成は大事ですので今後は町内の介護施設・社会福祉協議会など、意見を伺いながら話を聞いて行きます。



アゼリアハイツ

質問 志比内小学校校舎・体育館の屋根の塗り替えを

冬になると、屋根からの雪が落ちずらく、一度に落ちるので屋根が壊れる恐れがあり、窓ガラスが割れ非常に危険です。

- 1、志比内小学校は何年に建てられたのですか。
- 2、今まで何回ペンキを塗り替えたのですか。
- 3、これから定期的なメンテナンスはありますか。

教育長答弁 昭和56年建築で老朽化が進んできており志比内小学校につ

いては36年が経過しております。屋根も必要に応じて修繕しております。全面的な塗装はしておりません。今後につきましては今年度策定予定の計画において改修します。

再質問 やはり築年数も経っていますので修繕費はかかりますが一度も全面的な塗装をしていないのであれば定期的なメンテナンスをし、全面塗装をするべきです。特に冬場は雪とか氷とかが落ちガラスが割れ非常に危険です。

教育長再答弁 修繕の要望が多々あり小学校については個別の施設計画を立案中で有り、優先的な取り組みを考え、安全対策は大変大事な事なので学校とも連携しながら取り組んで行きます。



志比内小学校

大門 登議員



問

次期町長選挙への決意は。

答

2期目の成果を生かし再度町長として邁進したい。



答弁する山本町長

質問 来年2月に、東神楽町長選挙が実施される予定となっております。そこで、町民の方々より選挙になるのか、情報が聞こえてこないとのことで、心配の声があります。

3期目については、4カ月ほどありますが、年末年始が迫る中、この第3回定例会において明らかにすべきと考えますが、決意のほどは。

町長答弁 私は、平成24年初当選し、更に28年に再選され、3年半が経過しました。この間、町民の皆さんに約束した公約の実現と更なる町づくりに向けて、全身全霊をかけて町政の推進に当たって参りました。引き続き町長としてその職務を全うし東神楽町をよりよい町にする為専心努力する所存であります。

2期目の公約も概ね達成出来たと思っております。町は、人口減少対策、さらなる町の活性化や複合施設の整備等課題も多くあることから、引き続き町長としての責務を果たすべく前向きに取り組んでまいりたいと考えております。

認知症高齢者の

失踪対策について

質問 急速な高齢化社会の到来により、それに伴い失踪が増加すること懸念する。これらを支える対策が喫緊の課題と考え、町はどの様な取り組みをお伺いします。

① 高齢者が失踪した場合、町はどの様な対策をしているのか。

② 今後の失踪対策について。

町長答弁

① 旭川市と周辺8町でネットワーク連絡協議会の活用と消防・警察など関係機関と連携し、効果的な体制をとっている。

② コンビニ・コープ札幌・旭川道新会と見守り協定し、認知症の予防に町民講座や啓発運動に努めている。各地域では、サロン活動や健康づくりを通して実情に即した効果的な対策を図っていく。

再質問 認知症老人を抱えている家庭の悩みは、極めて深刻なものがあろう、多大な犠牲を強いられていることから、次の項目の考えは。

- ① 外出時には、状況つかむSOS発信機を常設して貸出している。
- ② 認知症対策の検討委員会の設置。
- ③ 名札や登録制に個人番号のステッカーを配布している。

④ 長・短期の保護施設の設置について。

町長再答弁 何らかの形で有効な手段があれば研究していきます。尚、

初期集中支援チームなどを活用しながら多角的に対応していく必要があると考えております。



SOS発信機

公営住宅の境界樹の

せん定状況について

質問 昨年の9月定例議会にて、緑町公営住宅の境界樹のせん定を行うことで確認しましたが、現地で見ましたら何もされていないので、この様なせん定の目的について、お伺いします。

町長答弁 7月2日に完了して、隣接する個人住宅への視線に配慮する為に施工しております。

再質問 公営住宅の上部を見える位置せん定しても個人住宅の視線に影響はないと思いますが、再度せん定し直す考えはありませんか。

町長再答弁 改めて調査していきま



せん定前
平成30年8月28日



せん定後
令和元年7月27日

清野修一 議員



問 交通規制の施設要望と防犯カメラの設置推進を

答 関係機関と連携し要望続けると共に防犯カメラ設置にむけて調査研究します

東神楽町の安全で安心なまちづくりについて

質問 これまで町民の安全で安心なまちづくり政策の成果についてどう思いますか。また、これからの政策について具体策をお聞きます。

交差点の危険箇所や通学路などに信号機や道路標識の設置を要望しています。毎年、警察関係に対し要望しているが叶うことは難しいようです。今後とも要望するだけでよいのですか。重大事故が起こる前に少しでも早く安全な道路が必要ですが考えをお聞きます。

次に防犯対策です。児童生徒達は防犯パトロール隊のご協力によって安心して通学ができています。だからと言って交通事故や犯罪が無くなるわけではなく常に秘めていると考えます。ニュースからは、全国各地至るところで犯罪が起きています。東神楽町内でも、ゴミの不法投棄や公園・学校付近に不審者の出没が出ています。我が町も決して安全で安心な町とはなっていないと。近年、他の行政で防犯カメラの設置を推進しています。設置について町長はどう思いますか。

町長答弁 政策には町民の安全で安心なまちづくりが重要です。昨年、交番の設置があり24時間体制のパト

ロール強化で犯罪や交通事故の抑制力が高まり大きく貢献しています。次に、信号機や横断歩道、一時停止標識といった交通規制に関する施設の要望の件ですが、なかなか設置には至りません。今後も同様に警察と現地確認を行い、注意喚起標識の設置などを行い、引き続き交通安全協会等の関係機関と連携しながら要望活動を実施します。



また、防犯カメラの設置は、重要であると思います。設置について調査研究を行っていて、現在は公共施設等の設置やゴミの不法投棄付近に一時的に設置しています。防犯カメラは、犯罪等の抑止力として効果的ですがプライバシーの侵害問題もあり慎重に進めます。今後とも、交番や防犯協会での関係団体と連携しながら情報提供や防犯パトロールなどを実施し、町民の防犯意識の高揚を

図り犯罪のない安心・安全で暮らせる地域づくりの実現に努めます。

再質問 信号機や道路標識等の設置要望を何年も出向いているが実現しないのは、依頼する方も受ける方もマンネリ化になっているのではないかと。実現しないのであれば、一層のこと町費で設置してはどうか危険箇所では常に事故が起きる要素があり対策が必要です。

防犯カメラについての答弁では公共施設やゴミの不法投棄現場等に設置しているとのことですが、それは施設に対して監視しているものであって町民に対してではない。安心・安全で暮らすには住宅街等に必要であると思うので町内会等と連携し設置することが必要ではないか。

町長再答弁 設置要望については年1回以上出向いているが全道的な規模の予算で行っているのが非常に難しいとの返答である。また、標識等の設置は道路交通法にあたり公安委員会が所管している。東神楽町は下級官庁となり町費で設置することは地方財政法に違反します。防犯カメラは犯罪等の抑止力の効果はあると思うが、逆に監視社会になつてしまうことも考えます。今後財政的な問題やモデル的な取り組みなど政策の立案に向けて調査研究します。

生 出

栄 議員
(日本共産党)



問 補聴器購入支援事業が広がっていますが。

答 認知症予防にも有効な施策と考える。

質 問 聞こえのバリアフリーに、政治のサポートが必要と、補聴器購入の支援事業が、各自治体で広がっています。早期の使用が対策の一番の柱と強調されていますが、我町に住んで良かった。人生を豊かに過ごす為に実現の考え方を問う。

町長答弁 身体障害者手帳を取得した方に、補装具費支給制度で補助を実施しています。

再質問 障害者になる前70デシベルから40デシベルの段階で支援が必要と言っているし、介護予防の方策と脳で聞く訓練も必要で、引きこもり予防として、多くの自治体で実施しているではありませんか。

空港騒音がある街、磁気誘導ループを設置している施設をもつ町として、再考の考えはありませんか。

町長再答弁 優先順位を考えながら有効な施策とっておりますので、研究調査をさせていただきます。

医療費と給食の考え方は

質 問 医療費補助制度と学校給食費無料化実施の考え方は以前同様ですか。

町長答弁 限られた財源の中で検証しながら、継続性なども勘案して、現在のところ実施の考えはありません。

算数セットの整備状況は

質 問 小学校入学時、算数セットをどの様に利用していますか。

教育長答弁 算数セットの購入状況は、東聖小学校以外の小学校では、学校に備え置きのものを使用しています。

東聖小学校においては、入学時に購入していただいています。

再質問 町長これあたりまえの姿と思いませんか。東聖小学校区の子どもと親にだけ負担をさせる事に平然と答弁している事に何も感じないのでしょうか。

町長答弁 できるだけ住民の皆さん、保護者の皆さんに負担をかけるいやり方も当然、必要と思っておりますので次年度に向けて、前向きに取り組んでいきます。

日米貿易協定と

東神楽農業への影響は？

質 問 農水省試算では、39%から何%に落ち込むと言われましたか。

T P P 11と日欧E P Aが発効されて輸入急増し、今回の日米交渉でT P P 出発点で、我町農業への影響はどの様になると考えていますか。

川浦農委会長 本町農業者も将来に向けて不安を感じていることと思えますし、予断を許さない状況にある

と考えます。農委といたしましても関係機関と共有し、足腰の強い農業に向けて取組んでまいる考えです。

町長答弁 農水省の減算は14%程度と示されています。今後も影響食い止めの強化に取り組んで行きます。



「さんそうせっと」の内容



学校教材「さんそうせっと」

東神楽小学校の6年生が議会を見学しました



9月11日、東神楽小学校の6年生26名が第3回定例会を見学しました。教育の一環として午後1時30分から1時間程度、一般質問の後半を熱心に傍聴し、次の感想を感想文として5名の生徒から提出していただきましたので紹介します。

感想文1

私は初めて議会に行きました。行ってみて思ったことがありません。一つ目は一人一人に時間があるのにびっくりしました。何時間でもしゃべれると思っていただけが違ってびっくりしました。

二つ目は東神楽を良くしようとかくさん提案をしていたので、すごいなあと思いました。

感想文2

私は議会を初めて見ました。議会の会場は想像以上に広かったです。議員さんの質問の中で安心な町づくりについての質問におどろきました。理由は、私は東神楽町は事

故も少なく安全で安心な町だと思っていたので、議員さんはさらに安全で安心な東神楽町にしていきたいと思っているのを知ることができ、見学をして良かったです。

感想文3

私は初めて議会の会場に行きました。まず、会場を見ると思っていたよりも広かったし、しずかだったのでとても緊張しました。

質問を聞いていると東神楽小学校の話もでていて、とても興味がわきました。私は町議会を見学して、よかったですと思っています。

この町が良くなっているんだなと感じました。

感想文4

私は今の町の状態や、あったらいいことなど知れてとても良かったです。

例えば町のお金のことや給食費無料のことなど、たくさん興味のあることがありました。

議員さんは質問などをして、町長の考えや今の町の状態を知ることができました。

町長さんはたくさんの方の意見を聞けるので町議会とは町のためになるすごいものだと思います。またぜひ町議会を見学したいと思います。

感想文5

ぼくは、議会へ初めて行きました。ぼくは東神楽町が安心して安全な町だと思っていましたけど議会ではもっと安全な町づくりの話をしていたのでおどろきました。

ぼくは町議会を見学して良かったと思いました。

熱心に議会を見学し、5名の生徒から感想文をいただきありがとうございます。

見学した感想内容をしっかり受けとめ、町、町民のために努力して参ります。
(東神楽町議会)

令和元年度
 全道議会広報の研修会が
 開催されました

全国町村議会
 広報研修会に参加して

第67回北海道女性議員
 協議大会に参加して

議会を傍聴して
 みませんか？

住民の皆さまが、会議の状況を直接見聞きできるよう、本会議室には傍聴席が設けられています。

◎次回の議会は12月11日の予定です。

竹久美紀恵 議員

研修会は、8月20日（火）の午前10時30分から札幌市中央区所在の「ポールスター札幌」において、道内113町村の議会広報担当者約560人が参加の下、実施されました。

研修会では、「月刊総務」編集長の豊田健一氏を招き、この中で同氏は、

○「広報誌作成のポイント」について「役割の徹底・読者目線・紙面構成が重要であり、読者との一体感を認識する必要がある」と強調した。

参加者一同は、読まれる広報誌づくりを目指して真剣に聴取しておりました。

3名の講師による研修内容は大変、勉強になりました。

手に取られ、読まれる広報紙を作る為に努力して参ります。

8月31日・9月1日、旭川市に於いて超党派を越え、女性議員の資質の向上を図ると共に、各自自治体については北海道の発展に寄与することを目的とし、全道から77名の道義・市議、各町村議員が参加し、活発な意見を出し合い「妊婦がより一層安心して医療を受けられる体制の構築を求め」要望書他7件を国、道に提出議案として届けて参りました。

また、女性議員数が増えることを願って終了致しました。

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内でお金や物を送ることや文書による挨拶行為等が法律で禁止されています。

また、町民の皆さんが寄付を求めてもいけません。

ご理解をお願いします。

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 横溝 政行 |
| 副委員長 | 松尾貴野枝 |
| 委員 | 大門 登 |
| " | 窪田 功 |
| " | 渡辺 一志 |
| " | 伊藤 一乘 |



研修会の参加者撮影写真



全国広報研修会参加者



開催地役員議員の皆様